

ぜんきょう神戸

発行責任者 全教神戸市教職員組合 執行委員長 佐々木 宏
連絡先 Tel. 380-8426 Fax. 367-3617 2011年2月16日 No.216

神戸市教育委員会は2月15日、2011年度の教育予算を発表しました。私たちは秋の対市交渉で、子どもや教職員をとりまく厳しい現状を鋭く訴え、諸要求の改善と実現を強く求めてきました。全市的な予算削減の中、教育予算は2月に補正した耐震化事業を含めて4.5%の増額を確保することができました。(当初予算は前年度比、約46億円減。)

「分かる授業」を推進するためには正規教員の配置を!!

昨年度に引き続き、「学びの基礎学力」向上推進のために補助員を配置します。(1,760万円)また、教育系大学生・大学院生によるスクールサポーターを小・中学校に配置し、教育活動への支援を充実します。(2010年度209校、640名登録)学校現場には一人でも多くのスタッフが必要ですが、私たちが求めているのは子どもたちが入学して卒業するまでの成長をしっかりと見守り、指導することができる正規の教員です。500名をこえる神戸市の「定数内臨時教職員」についても、引き続き「正規」としての採用を求めています。

外国人英語指導助手 (ALT) 28名増員!!

来年度から小学校において英語活動が必修化となることに向けて、小学校への外国人英語指導助手 (ALT) の配置を拡充します。小学校5,6年生の年間35時間の英語学習のうち、12時間をALTが、5時間をイングリッシュ・サポーターが、残りの18時間を担任が担当することになります。また、中学校・高校での全校通年配置は継続して実施されます。(6億4,394万7千円)

= 帰国・外国人児童生徒受け入れ促進に541万4千円! =

日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒の学校への円滑な受け入れを支援するために、支援ボランティアを配置します。

= 特別支援教育支援員の配置日数の拡充! =

小・中学校への特別支援教育支援員の平均配置日数が、今年度の60日から5日増え65日になります。配置日数は、対象の児童・生徒の状況によって次の3つのランクに分けられています。

最重点支援校…毎日、重点支援校…週1~2日、支援校…行事等の日

また、看護師免許を有する支援員の確保を行いやすくするための「医療的ケア加算」を実施します。(5,629万3千円)

「所得証明」の提出がいらなくなります!!

就学援助事務の管理システムを開発して、申請を簡素化することで、保護者・教員の負担軽減をはかります。2012年度より「所得証明」の提出がいらなくなります。(2,270万円)

家庭訪問は電動自転車で!!

私たちは子どもたちの健やかな育成のために家庭訪問を重視してきていますが、すべての学校に環境に優しい電動自転車が配備されます。(1,896万5千円)

熱中症対策として全中学校と小学校の一部に製氷器設置!!

熱中症対策やけがの応急処置のために、全中学校、およびスポーツ大会会場となる小学校に製氷器を設置します。製氷器の設置は一定の成果ですが、引き続き全教室のエアコン設置を求めています。(1,700万円)

盲学校・青陽東養のスクールバス増車!

保護者や学校からも強く要望がでていた、盲学校と青陽東養護学校のスクールバスがそれぞれ1台ずつ増車されます。(1,894万3千円) 青陽東養護学校では、障害の程度にかかわらず、高校生は公共交通機関等を使って通学しています。これで本人・保護者の負担はずいぶん軽減されます。

学校施設耐震化率100%に!!

2010年度の補正予算(およそ51億8,800万)も合わせて使い、耐震性能不足の校舎(幼稚園6園、小学校20校、中学校11校)の耐震補強と丸山小学校の改築工事が行われます。これにより、2011年度末で幼稚園・小中学校の耐震化率は3年前倒しで100%になります。(一部統合予定校を除く)

また、エレベーターを必要とする児童・生徒や介護者の負担軽減のためのエレベーターの整備が、小学校5校・中学校8校で行われます。

=2010年度補正予算で確定したエレベーター設置校=

《小学校》

多間東小・下畑台小・西舞子小・本多間小・霞ヶ丘小

《中学校》

住吉中・鶴台中・星和台中・山田中・高倉中・鷹取中
歌敷山中・桜が丘中

(2010年度補正:6億398万円)